



平成13年1月31日

各位

会社名 株式会社サイバード
(コード番号：4823 店頭登録銘柄)
代表取締役社長 堀 主知 ロバート
問合わせ先 管理部担当執行役員 豊田 亘
電話番号 03-3431-0111

四半期の当社の事業の進捗状況について

当社の第3期第3四半期(平成12年10月1日から平成12年12月31日まで)の事業の進捗状況についてお知らせ申し上げます。

1. はじめに

携帯電話業界における携帯電話及びPHS(以下、「携帯電話等」という。)の平成12年9月末契約者数は約62百万人(うちPHS約6百万人)でありましたが、同12月末には約64百万人(うちPHS約6百万人)と堅調に増加しております。特に携帯電話契約数の約46%を占めることとなったNTTドコモのiモードをはじめとする携帯IP接続サービスについては、対前月末比較で10月10.8%増、11月9.9%増、12月11.8%増と急増傾向にあります。(社団法人電気通信事業者協会のデータによる)

2. 当社の第3四半期における事業の進捗状況

このような環境の下、当社は当四半期中に、携帯電話等を媒体とするコンテンツ提供事業として国内で新たに12のサービス提供を開始し、平成12年12月末現在で66の国内公式コンテンツを運用しており、登録会員数も順調に増加しております。また、平成12年12月には香港においてもサービス提供を開始いたしました。当四半期中に新たに開始したサービスは次のとおりであります。

10月2日 - 「iモード」向けに、株式会社扶桑社の人気書籍シリーズ「清水ちなみとOL委員会出版局」と自分だけのオリジナル待受画像が作成できる「待受つくるっ」を提供開始

- 10月3日 - 株式会社明響社との提携により「a u」端末向けゲーム販売ECサイト「TVパニックゲームストア」を提供開始
- 11月1日 - 「E Z w e b」向けに16和音対応着信メロディサービス「CoolSound(クールサウンド)」を提供開始
- 11月6日 - 「iモード」向けに、株式会社世界文化社との提携による懸賞とパズルが融合した新タイプのパズルゲームコンテンツ「懸賞パズラー」を提供開始
- 11月15日 - 「E Z w e b」向けに手軽に自分専用のホームページを作成することができるコミュニティーサイト「@A J Aマイページ」を提供開始
- 11月25日 - P H S向けインターネットサービス「Feel H ”」向けに株式会社アトラスの次世代プリクラとして誕生した画像付きインターネット・コミュニケーションサービス「プリネット」を提供開始
すでに「プリネット」はiモ - ド、J - S K Y、E Z w e b向けにも提供しており、国内すべてのW E B対応携帯電話及びP H Sからの「プリネット」サービス利用が可能となった
- 「Feel H ”」向けに12和音対応着信メロディサービス「CoolSound(クールサウンド)」を提供開始
- 11月30日 - 「Feel H ”」向けに位置情報機能と地図業界最大手ゼンリンならではの市街地図情報をドッキングした地図情報サービス「ゼンリンケイタイマップ for feel H ”」を提供開始
- 12月1日 - 「Feel H ”」向けに手軽に自分専用のホームページを作成することができるコミュニティーサイト「@A J Aマイページ」を提供開始
- 「J - S K Y」向けに16和音及びサンプリングサウンド対応着信メロディサービス「CoolSound(クールサウンド)」を提供開始
- 12月14日 - 「E Z w e b」向けにユーザー参加型投稿掲示板のパラエティサイト「@A J A投稿パラダイス」を提供開始

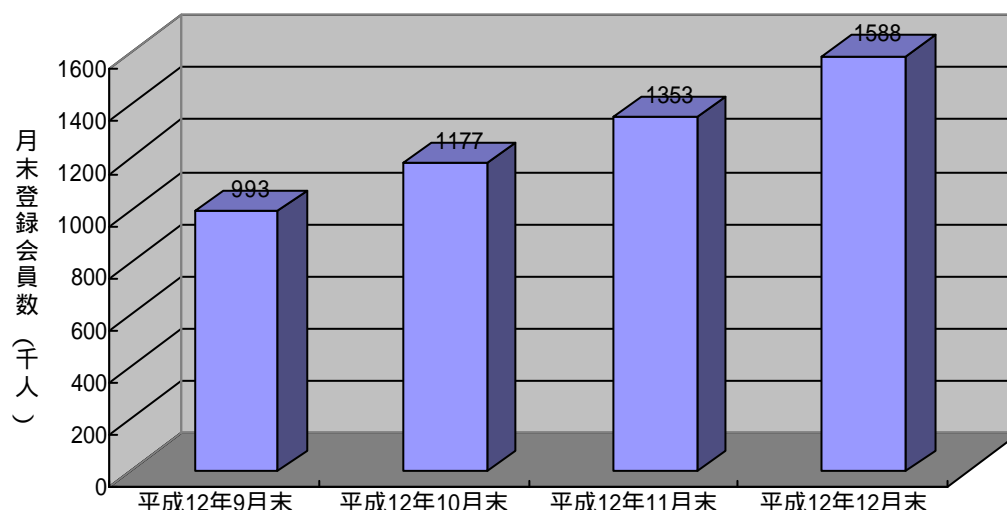
12月22日 - 香港の移動体通信事業者 Hutchison Telecommunications (Hong Kong) Limited と業務提携し、同社が行うサービス「Orange World」向けに着信メロディサービス「Cybird CoolSound (クールサウンド)」を提供開始

以上の通り、積極的な新規サービスの提供開始と既存サービスの充実に努めました結果、当四半期の売上高は 908 百万円となり、第 2 四半期までの売上高の累計 735 百万円を上回る大幅な伸びを達成することができました。一方、新規コンテンツの企画研究や海外進出調査などの先行投資を引き続き進めたこと等により営業損失は 295 百万円（営業利益率 32.5%）となり、株式公開に伴う国内公募増資及び海外私募増資による新株発行費が発生し経常損失は 366 百万円（経常利益率 40.3%）となりました。

また、第 3 四半期までの累計では、売上高 1,644 百万円、営業損失 1,042 百万円（営業利益率 63.4%）、経常損失 1,116 百万円（経常利益率 67.9%）となり、当四半期中に売上の伸びが大きく貢献しマイナスの営業利益率及び経常利益率を改善することができました。

なお、上記の金額及び利益率は、業績の速報のため未監査の数値であり、金額の百万円未満は切り捨て表示しております。

国内コンテンツ登録会員数の推移



第3四半期損益計算書及び中間損益計算書

(単位：百万円・単位未満切捨)

期 別 科 目	13年3月期 第3四半期 〔自平成12年10月1日 至平成12年12月31日〕		13年3月期 中間期 〔自平成12年4月1日 至平成12年9月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	908	100.0%	735	100.0%
売 上 原 価	648	71.4	629	85.5
売 上 総 利 益	260	28.6	106	14.5
販売費及び一般管理費	555	61.1	854	116.1
営 業 損 失	295	32.5	747	101.6
営業外収益	1	0.2	1	0.2
営業外費用	72	8.0	4	0.6
経 常 損 失	366	40.3	749	102.0
特別損失	-	-	1	0.2
税引前四半期(中間)純損失	366	40.3	751	102.2
法人税、住民税及び事業税	0	0.1	1	0.1
法人税等調整額	-	-	(借方)3	0.5
四半期(中間)純損失	366	40.4	756	102.8

第3四半期貸借対照表及び中間貸借対照表

(単位：百万円・単位未満切捨)

期別 科目	13年3月期 第3四半期末 (平成12年12月末)		13年3月期 中間期末 (平成12年9月末)		期別 科目	13年3月期 第3四半期末 (平成12年12月末)		13年3月期 中間期末 (平成12年9月末)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
流動資産		%		%	流動負債		%		%
現金預金	2,629		436		買掛金	193		114	
売掛金	781		478		短期借入金	500		-	
その他	184		104		未払金	311		294	
貸倒引当金	26		19		その他	100		36	
流動資産計	3,569	75.2	1,001	49.5	流動負債計	1,105	23.3	445	22.0
固定資産					固定負債				
有形固定資産	149	3.1	121	6.0	固定負債	65	1.3	78	3.9
無形固定資産	691	14.6	557	27.6	負債合計	1,170	24.6	523	25.9
投資その他の資産	338	7.1	341	16.9	資本金	2,405	50.7	1,275	63.1
固定資産計	1,179	24.8	1,021	50.5	資本準備金	2,462	51.8	1,145	56.6
資産合計	4,749	100.0	2,022	100.0	欠損金	1,288	27.1	921	45.6
					資本合計	3,579	75.4	1,499	74.1
					負債・資本合計	4,749	100.0	2,022	100.0

(注) 1.上記及びの表のうち第3四半期の数値は、未監査であります。

2.当社は、平成12年12月21日付けで日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録されたため、前年同四半期の数値及び同数値との比較増減(率)は開示しておりません。

3. 当期の見通し(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

携帯IP接続サービスの契約数は、平成13年1月には新たにNTTドコモによるiアプリ向けサービスとしてJAVA対応型コンテンツ提供がスタートし、市場では第4四半期も第3四半期と同様の増加傾向を辿ると予想されており、今後のコンテンツ提供数の増大、受託開発型ビジネスの拡大などの事業展開等も併せて考慮した結果、当初の売上予想29億37百万円より大幅な変更はないものと見込んでおります。

4. 売上高の状況

(単位：百万円・単位未満切捨)

期 別 品 目 別	13年3月期 第3四半期 自12年10月1日 至12年12月31日	13年3月期 中間期 自12年4月1日 至12年9月30日
	金 額	金 額
コミュニケーション系コンテンツ	182	142
インフォメーション系コンテンツ	529	486
そ の 他	196	106
合 計	908	735

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「コミュニケーション系コンテンツ」とはメールや掲示板を中心とするコンテンツであり、「インフォメーション系コンテンツ」とは生活情報や趣味情報などさまざまな情報提供を目的とするコンテンツであります。また、「その他の事業」とは主にシステムの開発や企画の受託業務であります。

3. 第3四半期の売上高の数値は、未監査であります。

4. 当社は、平成12年12月21日付けで日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録されたため、前年同四半期の売上高及び同数値との比較増減(率)は開示しておりません。

5. その他

資金調達の状況

平成12年10月26日付けで、コンテンツ開発資金等の調達を目的として短期の銀行借入500百万円を実行いたしました。

さらに、平成12年12月21日の店頭登録にあたり、平成12年12月20日を払込期日としてブックビルディング方式による一般募集により1,300株の新株式を発行いたしました。また、同時に、欧州を中心とする海外市場(但し、米国においては1933年証券法ルール144Aに基づく適格機関投資家に対する販売のみ)における募集により600株の新株式を発行いたしました。これらの増資による引受価額の総額は2,447百万円(うち資本組入額の総額は1,130百万円)となり、当該資金は主に今後のコンテンツ運用サーバー増強等の設備投資及び借入金の返済に充当し、残額は運転資金とする予定であります。

重要な契約の締結

相手先	内 容
株式会社扶桑社	NTTドコモ「iモード」を利用した情報提供サービス「i-OL委員会出版局」に係る業務提携契約書 NTTドコモ「iモード」向けに提供する「i-OL委員会出版局」に関する業務提携に係る契約。扶桑社は主として情報提供を行い、サイバードは主としてシステム開発・コンテンツ運用を行う。
阪急電鉄株式会社	「i宝塚歌劇」に関する情報・コンテンツ提供基本契約書 NTTドコモ「iモード」向けに提供する「i宝塚歌劇」に関する情報提供等に関する契約。阪急電鉄は「宝塚歌劇」に関する情報提供を主として行い、サイバードはシステム開発・コンテンツ運用を主として行う。
株式会社世界文化社	「パズラー」に係るパズル・ゲーム提供に関する基本契約書 NTTドコモ「iモード」向けに提供する「パズラー」に利用するパズル・ゲームなどの情報提供に関する契約。世界文化社はパズル・ゲームに関する情報提供を主として行い、サイバードはシステム開発・コンテンツ運用を主として行う。
株式会社ファミマ・ドット・コム	「ファミマ i」(仮称)に関するシステム開発委託基本契約書 NTTドコモ「iモード」向けに株式会社ファミマ・ドット・コムが提供予定の「ファミマ i」(仮称)に関する、サイバードによるシステム開発のための契約。

経営に影響を与える重要事項

前述の通り、平成 12 年 12 月 21 日付けで、店頭登録銘柄として日本証券業協会に登録され、株式を公開いたしました。

店頭登録にあたり、国内及び海外で併せて 1,900 株の新株式を発行した結果、発行済株式数は 15,340 株、資本金は 2,405 百万円となりました。

以 上